

## 黒人差別を無くす第一歩はどうやって踏み出せる？

3年2組1番 大河 寿音

Keyword: 「黒人差別」「差別」「人種差別」「人権」「黒人」

## 1. 研究の背景

2020年にアメリカで起きたジョージ・フロイドさんが白人警察官によって殺害された事件がきっかけだった。この事件をきっかけにInstagram上に黒色の画像をアップし、#blacklivesmatterを付けた投稿を多く見かける様になった。また、日本でも黒人差別撤廃を掲げたデモ行進が行われているのをインスタライブで中継しているのを見た。これらの運動をSNSを通して知ったことをきっかけに今までどこか遠い国の話の様に感じていた自分が間違っていたと気付いた。また、事件をニュースで知ったときには実際に自分で何か行動を起こしたり自分の意見を発信したりすることができなかったのがグローバル探究でこの問題について取り組み、差別を無くす為に何ができるのか研究した。

## 2. 先行研究の検討

奴隷制度の名残が現代にも残っている理由の一つとして、世界史の授業で知った“秘密外交”と奴隷貿易が大きく関わっていると考えた。また、奴隷解放宣言の草書を書いたトーマス・ジェファソンが自身も奴隷を所有する大農園の経営者であった矛盾についても注目した。研究を通して、今後世界の問題も自分ごとと考え、課題に向き合うことが大切だと考えた。

## 3. 独自研究

差別を無くす為にできることを黒人から生まれた文化という視点で現代に通ずるものはないか研究を行った。私はここで主に音楽について調べ、考察した。音楽はどのカルチャーよりも根強く様々な時代に影響されて進化しているものだと考える。そのため、特に黒人の生み出す音楽にはより強い思いが込められているのではないかと仮定し研究を進めた。

日本とアメリカの間の音楽の趣向の違いについて調査した。この調査から音楽の趣向にはその国の持つ歴史や人々の意志が大きく関わっていると考えた。なので日本でも社会問題に向き合って作られた曲を広め、1人でも多くの人に意味を知ってもらうことが大切だと考えた。また、文化を知った上で彼らの強い意志にリスペクトを持つことで文化の盗用を避けながら差別を無くす一歩になると考察した。

## 4. 結論と今後の課題

探究活動の中で黒人差別について歴史と音楽の二つの観それらを調べた結果、過去に起きたことを変える事はできないがその歴史を知って教訓を得ることやそこから生まれた音楽を知って込められた思いを絶やさないと分かっていた。

## 主な参考文献

アメリカ大使館運営情報サイト「AMERICAN CENTER

JAPAN<https://americancenterjapan.com/aboutusa/translations/2389/> (参照日:2023/6/26)

岩本裕子『アメリカ黒人の源流をたどる』浦和大学・2003年(参照日:2023/11/17)

本田創造『アメリカ黒人の歴史』岩波新書・2019